

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)		
事務事業名(事業番号)	みらいのアスリート応援事業	事業番号	12334
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	全道大会以上の大会に参加する市内の小学校、中学校及び高等学校に在学する児童及び生徒並びその引率者
	対象者の今後の予想	減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	スポーツの分野において、日本国内並びに世界で活躍するみらいのアスリート目指し、更なるレベル向上のため全道大会以上の大会に参加する市内の小学校、中学校及び高等学校に在学する児童及び生徒に対して市が支援を行い、遠征費の負担軽減、児童・生徒の意識の高揚、地域で応援する機運の醸成を図る。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	子育て世帯の保護者負担の緩和	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 みらいのアスリート補助交付団体数(年間)	25件	31件	/	/	/	/	35件	35件
2 みらいのアスリート補助交付人数(年間)	180人	215人	/	/	/	/	250人	250人
3			/	/	/	/		
4			/	/	/	/		
事業費(=下記内訳計)		H27予算		H27決算		H28予算		
		5,000		2,994		4,000		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他				2,994			
	一般財源		5,000				4,000	
人員(人工)			0.25		0.25		0.25	
職員人件費(=人員(人工)×8,081千円)			2,020		2,020		2,020	
総事業費(=事業費+職員人件費)			7,020		5,014		6,020	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			280		161		/	
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)			39		23		/	

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成26年度にバス料金が値上げされたことにより、貸切バスの利用についても補助基準を設け、宿泊費については、1人1泊当たり5,000円を基準の上限としていたものを1000円増額し6000円とし、さらに補助率を1/2から2/3に拡充した。
今後の動向・市民ニーズなど	全道・全国大会に同一年度で複数回参加する個人・団体もあり、保護者負担が大きいと、市からの支援を望む市民要望は、今後も続くと思われる。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 本事業は、確実に保護者の負担軽減につながり、子供たちのスポーツ振興につながるとともに、スポーツ活動の継続性も期待できる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 少年期間のスポーツ振興、子供の体力向上に向けた取り組みとして保護者負担の軽減は、市が行う必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない ①全道・全国対に複数回出場する児童・生徒がいることから、補助金の交付を現在の年1回から複数回に拡充することで、一層の保護者負担の軽減を図ることができる。 ②その都度遠征地までの交通費を算定し補助額を決定する現在の補助制度から、あらかじめ定められた交付金による交付金制度に変更することで速やかな交付を実現できる。 ③現在自家用車等の利用は、補助対象外としているが、遠征地によっては自家用車を利用する申請者が少なくないことから、制度を見直すことで、一層の保護者負担の軽減を図ることができる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 補助制度から交付金制度に移行した場合、交付までの事務手続きが簡素になることから、それに携わる人工の大幅な削減が期待できる。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

平成28年8月